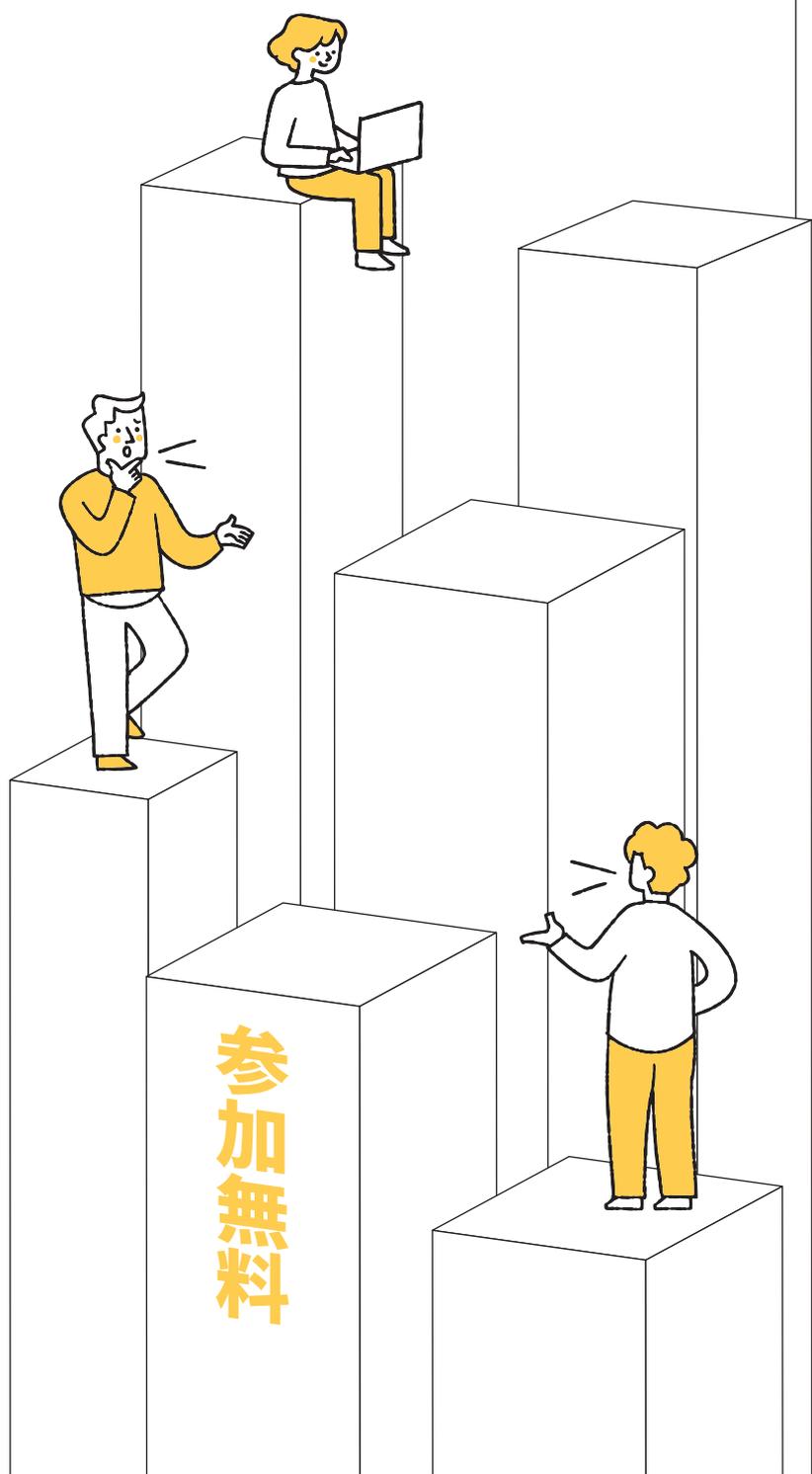


皇學館大学『地(知)の拠点』10周年シンポジウム

# 伊勢志摩で共に 暮らし続けることの ミライをかんがえあう シンポジウム 2024



# 10

要事前申込



令和6年 **9.8** SUN

10:30~17:00

## 皇學館大学

621教室(6号館2階)ほか

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704  
Tel 0596-22-8542(地域課題学修支援室)



◀申込フォーム  
一般の方もぜひ、ご参加ください

これまでの10年、これからの10年。

## 午前の部 オープニング

10:00 受付

10:30 学生発表等  
(ポスター・口頭発表)  
正課での学びやCLL活動のこれまでの取組を口頭およびポスターにて発表します。



開催日時 | 令和6年9月8日(日) 10:30~17:00

会場 | 皇學館大学621教室(6号館2階)ほか  
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704  
Tel 0596-22-8542(地域課題学修支援室)

駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関でのご参加をお願いします

- 近鉄宇治山田駅又は近鉄・JR伊勢市駅下車「内宮」行きバス(徴古館前経由約10分)にて「皇学館大学前」下車
- 伊勢自動車道を利用する場合は「伊勢I.C」から5分

## 午後の部 シンポジウム

13:00 I部 セレモニー  
挨拶等

### II部 シンポジウム

【基調報告】  
10年間の取組について  
・教育開発センター長  
・地域課題学修支援室長



【分科会】  
これまでの本学の取組に関して、3つのテーマに分かれ議論を深めます。

【全体会】  
分科会での議論の内容をもとに、今後10年の伊勢志摩地域の未来と本学の在り方について議論します。



## その他・終日

プロジェクト成果品展示・販売等

## 申込み



要事前申込(対面・オンライン)  
こちらのフォームからお申込み下さい。

スピーカー | CLL活動等へ参加している学生・卒業生  
連携自治体職員・CLL活動実施主体

コメンテーター | 齋藤 平(副学長・文学部教授)  
筒井琢磨(教育開発センター長・現代日本社会学部教授)  
板井正斉(文学部教授)  
千田良仁(現代日本社会学部教授)  
池山 敦(地域課題学修支援室長・教育開発センター准教授)  
藤井恭子(現代日本社会学部准教授)

企画・運営 | CLL活動運営学生スタッフ

詳細はこちらへ

皇學館 COC

検索

<https://www.kogakkan-u.ac.jp/cooperation/coc/>

# 皇學館大学『地(知)の拠点』10周年シンポジウム



## 開催趣旨

本学における「伊勢志摩定住自立圏共生学教育プログラムによる地域人材育成」は、令和6年をもちまして文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」としての採択から満10年を迎えます。

この間に多くの卒業生を輩出し、伊勢志摩定住自立圏を形成する3市5町(伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、明和町)の自治体をはじめ様々な方面との連携を深め、共に歩んでまいりました。

そこで、これまで10年間、本学が伊勢志摩地域の「地(知)の拠点」となろうと取り組んできた内容を総括するシンポジウムを開催いたします。また、これまでの総括を踏まえ、新たな10年の本学における地域連携、地域貢献のあるべき姿を模索し、伊勢志摩の未来につきご登壇の皆さまをはじめ、ご参集の皆さまと考える時間とできればと思います。

ぜひ皆さまご参集いただけますようお願いいたします。

## 地(知)の拠点ってなに?

本学は、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)(平成26年度~平成30年度)」を継承し、三重県伊勢市を中心市として「伊勢志摩定住自立圏」を形成する3市5町の自治体と連携し、「地域の定住機能の新たな在り方を自らの課題として捉え行動できるアクティブ・シチズンの育成」のための教育プログラムと大学教育の質的転換及び地域課題研究体制の構築に取り組んでいます。

